

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	医療法人 聖生会 リハビリス日進	階数	地上3F	
建設地	日進市東山6丁目2601-3、折戸町梨	構造	S造	
用途地域	法第22条地域、市街化調整区域	平均居住人員	214 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年2月8日	
敷地面積	2,875 m <sup>2</sup>	作成者	林 美博	
建築面積	1,521 m <sup>2</sup>	確認日	2019年2月8日	
延床面積	3,993 m <sup>2</sup>	確認者	林 美博	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )	100%
②建築物の取組み	46	86%
③上記+②以外の	46	86%
④上記+	46	86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.3
空気質環境	3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.0
耐用性	2.9
対応性	3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.8
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.4
非再生材料の	2.5
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.5
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

### 3 重点項目

#### ①地球温暖化への配慮

**3.5**

#### ③敷地内の緑化

**1.0**

外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)

7.0 %

建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)

0.0 %

#### ②資源の有効活用

**2.7**

#### ④地域材の活用

**1.0**

<外装材に使用した地域性のある材料>

なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています



<b>3 対応性・更新性</b>				3.0	0.29	3.0	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				3.0	0.31	3.0	3.0	0.50	
1 階高のゆとり				3.0	0.60		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38				
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17				
2 給排水管の更新性				3.0	0.17				
3 電気配線の更新性				3.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	0.11				
5 設備機器の更新性				3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22				
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30				1.8
1 生物環境の保全と創出		独自③		1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		2.0	0.40				2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50				
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									3.1
<b>LR1 エネルギー</b>									3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI <sub>m</sub> =0.75	5.0	0.30				5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20				3.0
3 設備システムの高効率化				2.8	0.30				2.8
4 効率的運用				3.0	0.20				3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00				
4.1 モニタリング				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				3.0	0.50				
集合住宅の評価				-	-				
4.1 モニタリング				-	-				
4.2 運用管理体制				-	-				
<b>LR2 資源・マテリアル</b>									2.7
1 水資源保護				3.4	0.15				3.4
1.1 節水			節水型便器使用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67				
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.63				2.5
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.21				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	1.0	0.21				
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		3.0	0.25				
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68				
1 消火剤				-	-				
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50				
3 冷媒				3.0	0.50				
<b>LR3 敷地外環境</b>									3.0
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が86%	3.5	0.33				3.5
2 地域環境への配慮				2.5	0.33				2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自	適切な台数の駐車場、駐輪場を設置	4.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40				
1 騒音		独自		3.0	1.00				
2 振動		独自		-	-				
3 悪臭				-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40				
1 風害の抑制				3.0	0.70				
2 砂塵の抑制				-	-				
3 日照障害の抑制				3.0	0.30				
3.3 光害の抑制				3.0	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30				

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

医療法人 聖生会 リハビリス日進

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.5</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.5	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.7</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:7%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 医療法人 聖生会 リハビリ

計画上の配慮事項	
総合	全体に落ち着いたデザインとし、上層階をセットバックさせることで周辺環境に配慮した。
Q1 室内環境	療養室は外部に対して開口部を大きくとり、自然光を出来るだけ取り入れる計画とした。天井高は2.5m以上とすることでゆとりある空間とした。
Q2 サービス性能	外部に分別可能なゴミ置場を設置し維持管理用機能を確保した。
Q3 室外環境(敷地内)	周辺環境に配慮し、最上階はセットバックさせている。
LR1 エネルギー	複層ガラスやガラスフィルムを用いることで断熱性能や日射に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含む建材を出来るかぎり使用しないことで環境に配慮した。
LR3 敷地外環境	全熱交換器など効率の良い設備を採用することで地球環境に配慮した。
その他	